

連帯 はばたき

連帯ユニオン
関西ゼネラル支部
宣伝部

第91号
2026.4

明るく・楽しく・元気に活動し、産業別労働運動を確立しよう！

2026 春闘で労働条件向上をかちとろう！



日本の実質賃金は20年以上にわたって低下を続けており、とりわけ中小企業で働く労働者や非正規で働く労働者の生活は厳しさを増しています。さらに、数年来の米や食料品の価格高騰に加え、アメリカ・イスラエルによるイラン侵略によってガソリンをはじめ生活必需品の価格高騰が追い打ちをかけています。

こうした中、関西ゼネラル支部では、他労組とも協力しながら、非正規労働者の大幅賃上げ等を実現する運動に取り組んできました。

関西非正規春闘の取り組み

昨年からは、コミュニティ・ユニオン関西ネットワークが中心となり、非正規春闘実行委員会を結成し、様々な取り組みを展開してきました。

2月20日には、大阪労働局、大阪府、大阪商工会議所への申入れと街頭宣伝を行い、府庁記者クラブで記者会見も行いました。

大阪労働局に対しては、最低賃金を直ちに全国平均で1,500円以上とすること、併せて、賃上げ余力の乏しい中小企業に対する支援策を充実させることなどを申し入れました。



大阪府に対しては、自治体独自の施策として、賃上げ余力のない中小企業に対し賃金の直接支援を行うよう申し入れました。岩手県をはじめいくつかの自治体ではすでに賃金の直接支援に乗り出しています。



また、大阪商工会議所に対しては、労働組合と協力し、自治体に対して中小企業等の賃上げ直接支援を働きかけるよう申し入れを行いました。



このほか、天満橋駅前に大幅賃上げを求める街宣を実施。その後、府庁記者クラブにて、非正規春闘の取り組みとホットライン開設について記者会見に臨みました。



これに加え、3月15日、堀江公園から難波まで、アメリカ村を突っ切る形で春闘デモを行い、道行く若者たちに大幅賃上げ等を訴えました。その様子は冒頭の写真の通りです。

2026 春闘で大幅賃上げを実現しよう！

関西ゼネラル支部では3月頭から、春闘に突入しています。30以上の分会で春闘要求を提出し、いくつかの分会で結果が出てきています。水杉産業分会では、基本給5%アップを勝ち取りました。A分会（保育士派遣）では時給150円アップとの回答がありましたが、さらなる上乘せを求めて交渉を継続しています。S分会で

は、塗料の高騰により賃上げは難しいものの、年間休日を3日増やすという回答を得ています。合通労組分会では、時給100円の賃上げをはじめ、いくつかの条件を獲得しています。この他、インフレ手当支給をかちとった分会もあり、賃上げの有額回答を得ているけれど交渉継続中の分会がいくつかあります。これから春闘団交が始まる分会もたくさんあります。これ以上の実質賃金低下を放置しないためにも、大幅賃上げに向けて全力を尽くしましょう。

産別労働運動に踏み出そう！

関西ゼネラル支部では、まだ労使の集団交渉はできていません。集団交渉というのは、産業別組合と一定の業界の使用者団体とが、交渉により、その業界の基本的な労働条件を決めるためのものです。そして、それによって、労働条件を企業間競争の枠外に置くものです。

企業間競争の下では、労働条件の切り下げ競争が起こり、大幅な賃上げや労働条件の引き上げは困難です。だからこそ、産業別労働運動に踏み出していくことが必須です。

介護事業者と労働者・労働組合の懇談会に結集を！

関西ゼネラル支部では、今年度から一般部会その他、医療部会、介護部会、保育部会を立ち上げました。そして、まず介護業界において産業別労働運動への取り組みを強めていくことにしています。その第一歩として、5月23日（土）午前10時から、エル・おおさか604号室において「介護事業者と労働者・労働組合の懇談会」を開催します。懇談会においては、介護事業者から、今業界が抱えている問題等について意見を聞き、協力できることは協力して、業界の改善に取り組んでいくつもりです。組合員は、介護以外の職種の方も、こぞってご参加いただくよう尾根がします。（N副執行委員長）

竹信三恵子さんと考える「ジェンダー平等と平和」への道

3.8 国際女性デー記念集会開催

3月8日の国際女性デーに合わせ、ジェンダー平等と平和な社会を目指すつどいが開催されました。竹信三恵子氏の講演を通じ、女性の権利軽視や軍拡を批判。学習性無力感を打破し、連帯して声を上げる重要性を共有しました。

響き合うミモザの香りと連帯の歌声

ミモザの花が爽やかな香りを漂わせる会場には、70人を超える参加者が集まりました。オープニングでは、女性の参政権や労働者の権利を象徴する歌「Bread and Roses」が流れるなか、「ケア労働者に正当な賃金を」「セクシャルハラスメントをなくそう」といったメッセージを掲げたプラカードパフォーマンスが行われ、集会の幕が開きました。このつどいには、韓国やフィリピンといった海外の女性団体からも連帯のビデオメッセージが寄せられ、国境を越えて手を取り合い、差別のない社会を目指す国際的な絆が示されました。

基調報告では、現政権による軍拡や反ジェンダー平等の動きに対しと強い批判が示されました。あわせて、選択的夫婦別姓の法制化や7月25日の「女性の権利デー」に向けた取り組みが呼びかけられ、各団体からの報告を通じて、声を上げ続けることこそが政治を動かす力になるという連帯の重要性が改めて共有されました。

竹信さんが語る「女性活躍」のからくり

続いて、ジャーナリストで和光大学名誉教授の竹信三恵子さんが、「女性の働き方とジェンダー平等／戦争ではなく、税金はくらしに！」をテーマに講演しました。竹信さんは、現在の「女性活躍」の実態が人手不足への対応策に留

まっていると指摘。女性が権利を求めると「夫に頼れ」といった“夫セーフティーネット論”が持ち出され、個人の権利が軽視されてきた現状を批判しました。

また、夫婦別姓が進まない背景には家族責任を女性に負わせたいという社会構造があることや、ハラスメント防止法の規定が不明確である点などの課題を挙げ、法律に実効性を持たせる重要性を強調しました。さらに、軍事費に偏る予算の状況を「振り込め税金詐欺」と表現し、社会に広がる「どうせ変わらない」という学習性無力感を打ち破るために、政策のからくりを見抜く視点が必要だと訴えました。

講演のなかで竹信さんは、女性たちの切実な訴えを「個人的な問題」に封じ込めるのではなく、社会全体を変えるための政治的な要求へと押し上げていく知恵と工夫が必要であると語りました。

無力感を打破し社会を変える一歩へ

講演の締めくくりとして、貧困率や賃金格差のデータを示しながら、「賃金は声を上げたところで上がる。上げなければ変わらない」と参加者を力強く励ましました。最後に、実行委員長が70人を超える結集を大きな希望であると総括し、つどいは盛況のうちに締めくくられました。

【 報告 / TM組員 】



保育者が安心して働き続けられる環境を目指して

Y 保育園分会

現場と事務、二つの視点から見えた課題

はじめまして。このたび組合に加入しましたAと申します。以前は保育士として現場に立ち、現在は保育園の事務員として勤務しています。立場は変わりましたが、経理に携わり、園全体の運営を数字の面からも見るようになったことで、保育者の働き方や処遇については、これまで以上に関心を持つようになりました。

「一人ではない」と思える連帯の強さ

組合に加入したきっかけは、保育者の働き方や処遇に対する課題を強く感じてきたことです。現場で働いていた頃から、責任の大きさに対して十分とは言えない処遇や、業務負担の重さに疑問を持つことがありました。しかし同時に、『自分一人ではどうにもならない』という現実にも直面してきました。「仕方がない」と諦めるのではなく、同じ思いをもつ人たちとつながり、声を上げていく必要性を感じ、組合への加入を決めました。



実際に加入してみると、異業種で働く方々の状況を知る機会があり、業界は違えど似たような悩みや課題があることに気づきました。『自分だけではない』と思えたことは大きな支えになっています。また、同じ組合の仲間にも助けられる場面も多く、会社や業種が違って、同じ労働者としてつながっていることを実感しています。こうした連帯感こそが、一歩踏み出す勇気を与えるのだと感じています。

誇りを持って働き続けられる未来へ

これからの保育業界は、人材不足や処遇の改善といった課題に引き続き向き合っていく必要があります。その一方で、保育の重要性は社会のなかでますます高まっていくと感じています。だからこそ、保育者が誇りを持って働き、安心して働き続けられる環境づくりが必要不可欠です。そのためにも、現場の声を大切にしながら、仲間とともに少しずつ状況を変えていくことが重要だと考えています。

一人ひとりの声は小さくても、手を取り合うことで社会を動かす大きな力になると信じています。まだまだ学ぶことも多いですが、組合の一員として、多角的な視点を持ちながら自分にできることを一歩ずつ積み重ねていきたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。

【 当該組合員 】



～お知らせ～

第97回中之島メーデーに結集を！

5月1日（金）13:00～ @中之島公園剣先広場

メーデーは、1886年5月1日にアメリカのシカゴで行われた労働者のストライキに起源を持ち、労働者の権利を主張する日として世界に広がりました。平日の昼間ですが、有給休暇を取るなりして、是非ご参加ください。

輝け憲法！ 平和といのちと人権を おおさか総がかり集会

5月3日（日）13:40～ @扇町公園

ロシアによるウクライナ侵略、イスラエルによるガザでのジェノサイド展開、イスラエル・アメリカによるイラン・レバノン侵略…。そして日本でも着々と軍事化が進んでいます。こうした中、「平和といのちと人権」を求め、集会に結集しましょう！

ピースフェスタ in おおさか 2026

5月10日（日）11:00～16:00 @いくのパーク（御幸森小学校跡）

ステージでは踊りや音楽の演奏があり、広場を囲んで様々な出店も出ます。連帯ユニオンでもホルモン焼き等の出店を出す予定です。ぜひご参加ください。

介護事業者と労働者・労働組合の懇談会

5月23日（土）10:00～12:00 @エル・おおさか

関西ゼネラル支部主催です。介護分野での産別労働運動を一歩でも進めるために、介護事業者との意見交換を行いたいと考えています。組合員はこぞってご参加ください。

人権問題シンポジウム

「武器としての国際人権～思いやりと人権は別物～」

講師：藤田早苗さん 6月20日（土）18:30～20:30 @エル・おおさか

藤田早苗さんは国際法学者。日本の人権状況向上を切望し、国際社会に日本の人権問題を伝えつつ、日本に国際人権を紹介するために奔走しているアカデミック・アクティビストです。藤田さんの活動が、国連人権理事会のビジネスと人権作業部会が関生支部への未曾有の権力弾圧に懸念を表明することにもつながりました。こぞってご参加ください。

火曜日行動にご参加を！

- 大阪広域生コンクリート前行動（8時20分にユニオン会館からバスで出発）
- 江坂生コンへの抗議行動（12時20分にユニオン会館からバスで出発）
- 昌一金属闘争デモ（14時30分に東横掘緑地北端からデモ出発）